

第 9 回沖縄県教育委員会会議（定例会）

1 日時 平成26年7月16日 15時00分～16時12分

2 場所 教育庁第1会議室

3 出席者

委員	宮城 委員 (委員長) 富川 委員 泉川 委員 石嶺 委員 照屋 委員 諸見里 委員 (教育長)	(欠席委員) なし
教育 庁	統括監等	教育管理統括監、参事（2名）
	課長及び 班長等	総務課長、教育支援課長、施設課長、学校人事課長 県立学校教育課長、義務教育課長、保健体育課長、 生涯学習振興課長、文化財課副参事兼文化財班班長
	職務のため 出席した者	(事務局) 総務課総務班班長、同班主査、同班主事 学校人事課小中学校人事管理監、同課小中学校人事班主幹 県立学校教育課高校教育改革班主任指導主事、同班指導主事
4 傍聴した者		
記者 2人 / その他 2人		

平成26年第9回県教育委員会会議（定例会）

（開会15:00）

委員長	ただいまから平成26年第9回県教育委員会会議・定例会を開催します。 まずはじめに、議事日程の決定を行います。会期は本日1日とし、会議の順序等についてはお配りした日程案のとおりとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 次に、平成26年第8回会議録の承認を行います。石嶺委員をお願いします。
石嶺委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているとのことですので、承認してよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 今回の会議録署名人は、富川委員をお願いします。
富川委員	はい。了解しました。
委員長	次に、報告事項に入ります。 報告事項1「平成26年第3回沖縄県議会（6月定例会）における質問・答弁等概要報告」について、総務課から報告をお願いします。
総務課長	（報告事項1の説明） ・「平成26年第3回沖縄県議会（6月定例会）における質問・答弁等概要報告」について
委員長	御質疑ございますか。 （しばし間があり） ここに挙げられているものを見ると、多岐にわたっており様々という印象です。今回は県議会における質問・答弁等が52件報告されていますが、全部で99件だったと聞いています。ここに出ていないものはどうなっていますか。
総務課長	同じ項目が複数の議員から質問されますので、例えば（1）の「学力向上のための取組等について」は5名の議員から同様の趣旨で質問されております。こういったものもトータルで含めた件数が99件ということになります。
委員長	中高一貫教育についても、新聞に載っていましたね。
教育長	これについては私のほうから説明いたします。 高い目標を掲げ、難関国立大学等を目指すということを目標に、那覇地区、開邦高校において、中学を設置するという内容について新聞報道がありました。 この報道を受けての反響は大きく、開邦高校の歴代の校長たちもかなり賛

	<p>成しており、是非やってほしいというようなご意見を多数いただいています。</p> <p>ところが、開邦高校でやるならば中頭地区でもという声が上がリ、そういった情報が県議の耳にも入り、中頭地区の球陽高校にも中学校を作ってほしいという趣旨の質問がありました。それについては検討させていただきたいということで答弁しています。</p>
委員長	<p>中高一貫のメリットというのは継続性ということもあると思います。</p> <p>また、「秋田県との交流内容・効果について」も質問されていますが、秋田だけでなく東北では、小学校低学年1、2年生は持ち上がりで同じ先生が担任をするそうです。そういったことも学力向上につながるのではないかと思います。県内では持ち上がり制の状況はどうなっていますか。</p>
教育長	<p>市町村教育委員会に対しては今年度からできるだけ小学校5、6年生は持ち上がりにして欲しいという要望を出しています。ただ、1、2年生について各学校でやっているかは把握しておりません。検討する必要があるれば調査します。</p>
委員長	<p>ぜひ調査していただいて、もし子ども達にとって、また先生方にも良い効果があればぜひ採用していただきたいと思います。</p>
諸見参事	<p>5、6年生の持ち上がりについては、各学校の状況を見ながら検討していきたいということを聞いていますが、実際実施できているかどうかは確認ができていません。</p>
教育長	<p>小学校1、2年生で持ち上がりを実施しているところがありますか。</p>
諸見参事	<p>実施しているところもあると思いますが、把握はしておりません。</p>
教育長	<p>ではこれから調査を行い、効果的な面があるとなれば検討していきたいと思います。</p>
委員長	<p>ぜひお願い致します。</p>
泉川委員	<p>学力向上の話の中で持ち上がりについて先だって説明を受けたときに、私自身が理解していなかったのが、生徒の構成を変えずにそのまま1学級として上がっていくというのが基本的な持ち上がりですね。私が誤解して認識していたのが、担任が生徒と一緒に次の学年に行くという持ち上がり方、つまり1年生の担任が、2年生になったときにそのクラスをそのまま2年生の担任として持つというのが私の理解していた持ち上がりだったんですが、以前伺った学力向上の話の中では、担任は代わるけれども、生徒の構成を変えずにそのまま上げていくということでも、なんらかの安定性や、やりやすさがあり、クラス作りや学級運営に際して、新学期に混乱を来さないなどのメリットがあるということで、そういった持ち上がりもあるのかと認識したのを覚えています。</p>

	持ち上がりについて、この2つの持ち上がりに関する認識をご説明願います。
義務教育課長	基本的にはクラスも担任も一緒に持ち上がることを想定しています。
泉川委員	学校現場において、担任と生徒がセットになって1年上がることが持ち上がりという認識でよろしいですか。私はそう理解していたんですが、別バージョンがあるのでしょうか。
諸見参事	<p>学校の現場で持ち上がりというと2通りあります。再度学級編成をせず学年が上がることを中心に考えているのが学力向上の面から定義されたものです。</p> <p>現状としては、担任はそのまま学級編成はやりかえを行うという形もあります。担任が5年から6年、1年から2年に持ち上がりをした場合も持ち上がりと言っています。</p>
泉川委員	<p>個人的な意見ですが、校長の裁量で教員の指導力や子ども達の学級運営における相性のようなものがあつたときに、リフレッシュをしたほうが良いであろうという場合は担任が代わった方が良いということがあり得ると思います。</p> <p>普通は担任と生徒がセットになって、良好な関係で持ち上がるとつなぎが非常に良いので、3、4月のロスがなくなり、学力向上に非常に有効であると思います。</p> <p>一方、仮に校長のほうで、指導を変えた方が良いという場合、クラスはそのまま担任を変えるということが十分あり得ると思います。その場合にクラスはそのまま上げようという、2つ目のバージョンの持ち上がりの考え方もあるのではないかと思います。クラスとしては非常にうまくいっているという判断であれば、生徒の立場で入替えがあつて混乱するようならば、そのまま上げるといふのもありだと思ひ、その説明を聞いたときにこういう形も持ち上がりだと感じたので質問させていただきました。</p> <p>議論するときどちらの持ち上がりかということをはっきりさせながら話すの良いと思います。</p>
教育長	基本的には学校長が総合的に考えて決定することです。例えば、この学級は編成を変えたほうが良いという判断もあり得ると思います。
泉川委員	その場合、それを持ち上がりという場合があり得るので、用語の統一と言う意味で共通理解したほうが良いと思います。
教育長	推奨しているのですが、学校の実情に応じてクラス替えしたほうが良いという判断があれば、そのほうが良い場合も考えられます。
委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>(しばし間があり)</p>

	では、次に報告事項2「平成27年度（平成26年実施）沖縄県公立学校教員採用候補者選考試験応募状況」について、学校人事課より報告をお願いします。
学校人事課長	（報告事項2の説明） ・「平成27年度（平成26年実施）沖縄県公立学校教員採用候補者選考試験応募状況」について
委員長	御質疑ございますか。 （しばし間があり） 一次試験は共通筆記試験ですか。
学校人事課長	一般教養と教職教養及び専門教科の筆記試験です。英語では音声によるリスニング試験もあります。
委員長	一次試験の合格者は例年どのくらいですか。
学校人事課長	科目や募集ごとに異なりますが、だいたい最終合格見込みの1.5倍くらいとなっております。応募者の多い科目や採用予定の少ない科目では若干違ってきます。
委員長	開きが大きいのですか。
学校人事課長	採用が少ない科目については、それに見合った数ではなく、全体の中で2次、3次試験まで見ていこうということで、少し一次試験の枠を広げるといような工夫をしています。
委員長	今年度も狭き門ですね。
学校人事課長	応募者数でいうと、九州ではトップクラスの5,000名規模の試験を行っています。全国的に見てもかなり多い受験者数です。
泉川委員	県外から応募される受験生や、県内で教職免許を取っているが厳しい数字を見て県外に出ていく人材の流れについては把握されていますか。
学校人事課長	県内から県外に流れる人材の数は把握していませんが、今回電子申請を導入したことにより、県外からの受験者が増えています。 県外から沖縄を受験する人数はある程度押さえていますが、県外といっても県内出身の方が大学進学のために県外に出ている場合もあれば、純粋に県外出身の方もいます。
泉川委員	沖縄県のブランドというか、ここで働きたいという職場環境だということ で来られることは望ましいですね。 もし、県内の人材が出ていっているのであれば、そういった方にもなんらかの場所を提供できるような沖縄県の職業環境であってほしいと思います。 これだけ多くの人材が試験に落ちるといのか、人材として活用できなくなっていることが残念に感じます。
学校人事課長	今年は5,000名程度が受験していますが、毎年150～200名ずつ応募者が減

	<p>ってきている現状ですので、今後は紙媒体の他、ホームページなども活用して、県内の大学等に対してもPRしていきたいと考えています。</p>
照屋委員	<p>応募者の中に、臨時的任用等をやられていて一次試験が免除になる方はいらっしゃいますか。</p>
学校人事課長	<p>一次試験が免除になるのはスポーツ・芸術で優れた実績を持つ方、特別選考の方のみです。</p>
委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>本日は議案が4件となっておりますが、議案第3号及び第4号は人事案件となっておりますので、非公開としたいと思いますよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>このとおり決定します。</p> <p>それでは、議案第1号「沖縄県立高等学校管理規則の一部を改正する規則について」県立学校教育課から説明をお願いします。</p>
県立学校教育課長	<p>(議案第1号の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「沖縄県立高等学校管理規則の一部を改正する規則について」
委員長	<p>御質疑ございますか。</p>
富川委員	<p>基本的には県内高校の大学進学率を高めるということでは賛成ということをお話を前提に、課題について申し上げます。</p> <p>一つはくくり募集についてですが、大学進学となると、私立高校では2年間で教科書を終える学校もあり、私大の難関大学等では受験科目が決まっているので、早めに意志決定をして準備期間を長くした方がいいという考え方もあり得ます。最初の1年間でどのような意味を持つのか、説明を聞きましたが納得できない点があり、このことに関しては進めていくしかないと思いますが、進めながら検討していただきたいと思います。</p> <p>もう一点は、フロンティア科と普通科の中途での入れ替えができないかということです。競争心やモチベーションを高める意味でも、入れ替えを若干認めたい方がいいのではないかと思います。</p> <p>以上のことから、基本的には賛成ですが、そういった調整も勘案して進めていただきたいと思います。</p>
県立学校教育課長	<p>はい。学校と調整しながら進めていきたいと思っております。</p>
委員長	<p>フロンティア科というのが他の学校と違う県内で初めてということですが資料9ページの囲いの中の※印の箇所に記載されているフロンティア学の主な学習内容というところからは、この学科の特徴があまり見えてこないよう</p>

	<p>に思います。大学進学に特化したとしかなく、せつかくの特徴があまり見えてきません。</p> <p>フロンティア科を設置するにあたり、色々な協議を重ね、その中で主な学習内容についても特徴を作っているかと思います。「フロンティア＝開拓」ということで、すべてが難関校に特化したものではないと思います。</p> <p>また、くくり募集について、3年間の計画の中でなんらかの目的があつてのものだと思いますが、そのあたりについてご説明をお願いします。</p>
県立学校教育課長	<p>フロンティア科の目標として、北部地区の進学の拠点校として沖縄の文化歴史を大切にすると共に、地域の産業、自然、文化、学術等の影響を有し、資源を活用する、フロンティア学にはそういった部分もあるかと思います。</p> <p>また、国際化時代に対応できる独創的な想像力、行動力を兼ね備えた人材育成。そして、郷土に誇りを持ち、フロンティア精神の向上、国際性に富み、グローバル社会に活躍できる人材育成ということが挙げられます。</p> <p>二番目として、語学力・コミュニケーション等でプレゼンテーション能力を高め、あらゆる分野で活躍できる人材育成ということが挙げられます。</p> <p>くくり募集で2クラス分80名を募集し、1年間の中で進路指導もしっかり行き、自分たちの進路をきめ細かく決定し、2年次から理系・文系それぞれを少人数クラスで展開していくことが狙いとなっています。</p>
委員長	2年から分かれるときに希望が大きく偏った場合はどうなりますか。
県立学校教育課長	きちんとした人数調整はできないかもしれませんが、できる限り3クラス編成で進めるという方向性です。運用しながら課題を挙げていき、多様な進路に適応するような調整が必要になってくると思います。
石嶺委員	基本方針の中に、北部地域における大学進学の出発点校と位置づけるとありますし、資料の中で国公立大、難関私立大学への進学をしっかりと目指したいということなので、設置するという事は結果を求められる学科だということを念頭に、結果が出る仕組みをしっかりと作り上げてもらいたいと思います。
照屋委員	関連しますが、高等学校と特別支援学校の編成整備計画の進捗状況が見えないので、勉強会の中で取りあげていただきたいです。その中で検討すべきもの、変更すべきもの等出てくると思いますが、勉強会の中で情報提供していただきたいと思います。
委員長	<p>編成整備計画については、理念についてもきちんと説明をしていただきたいと思います。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、このとおり決定してよろしいでしょうか。</p>

各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 それでは、議案第2号「平成27年度沖縄県立高等学校入学定員について」引き続き、県立学校教育課から説明をお願いします。
県立学校教育課長	(議案第2号の説明) ・「平成27年度沖縄県立高等学校入学定員について」
委員長	御質問等あればお願いいたします。
富川委員	<p>数で調整するというのは対処法として致し方ないと感じますので、議案には賛成です。</p> <p>ただ、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2020年くらいに沖縄県の人口のピークが来ると言われております。</p> <p>数を合わせることも必要かもしれませんが、教育方針や理念など、どういう教育をしていくかといった基本方針を再度確認する必要があると思います。</p> <p>県立高校の編成整備計画は10年計画とのことですが、10年の時間の長さの中では陳腐化もしていくでしょうし、これに理念や方針が入っているかは分かりませんが、こういう教育をしていくんだという考えの基に、クラス編成はあるべきで、数だけ合わせていくというだけでは対応できないのではないかと思います。</p> <p>教育委員会の責任かもしれませんが、人口減少の中での教育方針や方向性を検討していかなければならないと思います。それがあれば現場で反対が起きたときにも方向性を示すことができますが、無ければ説得力に欠けると思います。</p>
委員長	<p>進学校は学級数が多いですが、北部地区は1クラスの人数が多いですね。</p> <p>先ほど富川委員からご説明がありましたが、人口減少、少子化が進んでいますし、数年後にはさらに数字が減となることが予想されます。</p> <p>ご提案いただいたような理念や教育方針を持った編成整備計画であれば、保護者にも納得いただけるものだと思いますので、そういったものを作っていかなければいけないと感じます。</p>
県立学校教育課長	平成20年から平成33年まで約1,500名近くの生徒が減っていく中にあり、富川委員からありました理念等につきましても含めて検討してまいりたいと思います。
委員長	方針が見えてくれば、教育に関わる先生方、教育を受ける生徒達にも伝わると思います。
泉川委員	フロンティア科には期待していますが、編成整備計画の中で、北部から中南部に受験生が流れていくということが起きています。中南部には進学校や

	<p>私立の学校があるということで、寮やアパートなど経済的な負担をしながら北部から努力して進学している中で、北部にフロンティア科ができるということで、地元で勉強し、自分の夢を開いていくことができる、こういった期待を込めて作ってほしいと思います。</p> <p>受験して入学してきた子どもたちだけでなく、北部の高校の子どもたち皆が、フロンティア科はフロンティア科の頑張りを見ながら、スポーツやその他の分野等も含めて、それぞれの分野で頑張る子どもたちが、みんな地元で頑張れるんだというメッセージをぜひ送ってほしいと思います。</p> <p>受験だけではなく、子どもたちが中南部に移動しなくても、自分たちの地元で夢を開くことができるんだということを、フロンティア科は自分たちのやり方で実現してほしいと思います。</p> <p>石嶺委員が先ほどおっしゃったように、結果が出せるような内容にしてほしいと思います。そういう期待を込めて進めていけたらと思います。</p>
委員長	<p>北部には環境学科という特徴を持つ辺土名高校などもありますが、フロンティア科ができることによって、人数が減ってしまうのではないかと感じます。</p> <p>辺土名高校の学生と話したことがあるのですが、沖縄科学技術大学院大学のことを知りませんでした。自分たちがやっていることがどこにつながっていくのかを含め、情報発信を強化していただけたらと思います。</p>
県立学校教育課長	<p>情報発信を含め、進学力グレードアップ事業等についても情報発信しながら、支援していきたいと考えております。</p>
委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、このとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>このとおり決定します。次の議案は非公開案件となりますので関係者以外はお退出願います。休憩します。</p> <p>(傍聴者退室)</p> <p>(以下は非公開部分のため省略します)</p>